

施されており。今後はさまざまな分野で町民と行政の協働の取り組みにより環境整備に努めてまいります。

道路網の整備については、一般国道40号「幌富バイパス」整備事業は宗谷本線横断跨線橋（こせんきょう）及び町道幌延下沼線横断ボックス工事の着工が予定されています。早期の完成に向けて関係機関に引き続き要請してまいります。

また、天塩大橋についても狭隘で交通安全上危険でありますので、「幌富バイパス」につながる架け替えとして早期に取り組みられるよう要請してまいります。

道道、豊富遠別線の雪印幌延工場の栄橋から元町の学前橋付近までの整備については今年度着工で、踏み切りの拡幅工事を実施する予定です。稚内幌延線の幌延十字街から踏切までの整備につ



ては引き続き北海道に要請してまいります。

町道につきましては、継続事業の幌延1号線の舗装整備、幌延下沼線の路盤整備と平成17年度に測量調査を実施した町道1条伸通線及び2条線、問寒21号線（墓地管理用）の道路改良事業に着手します。特に市街地の道路整備については社会的弱者に配慮した構造で整備します。

また、冬に強い道路整備のため町道の要所所に防雪柵を設置してまいります。今年度は下沼14号線に着手します。

高度情報化時代での過疎地域の「情報の都市化」

をどう進めるべきかを検討する庁内組織として「地域情報化推進検討会」を発足させております。老朽化した防災無線、酪農業の情報化、福祉・医療分野への活用等総合的な地域情報化の推進を検討してまいります。

公営住宅の整備につきましては、引き続き宮園団地に2カ年の継続事業で1棟12戸の完成をめざします。

定住持家住宅の促進から補助制度を引き続き実施するとともに、昨年度造成した分譲宅地の完売をめざします。

簡易水道につきましては、安全かつ良質な水道水の供給に留意してまいります。問寒別簡易水道の配水池について移転整備を進めるとともに、幌延簡易水道の水源確保についても考究してまいります。

平成14年度完了しました公共下水道事業につ

ては適切な維持管理と水洗化の普及率の向上に努めてまいります。また、集落地域の個別排水処理施設整備事業は地域の希望が一段落したことから問寒別地区教員住宅4棟7戸の水洗化に取り組みます。

近年、道路沿いに「ごみのポイ捨て」が見受けられます。清潔で美しいまちづくりを推進するため町民一人ひとりの美化意識の高揚を図り、住む人々の協働による美しいまちづくりをめざします。

全国各地で大規模な自然災害が発生しており、その災害を教訓に幌延町の災害対策の基本となる「幌延町地域防災計画」の改定を実施します。

第2は、「生き生きとした魅力ある産業をつくる」施策であります。

基幹産業の酪農にあつては乳製品の消費の低迷及び次期WTO（世界貿易機関）農業交渉の「上

限関税の導入」等、暗雲が立ち込めております。特に飲用乳の消費低迷や脱脂粉乳とバター在庫増を受けて、平成18年度の減産を打ち出した次期生乳安定生産対策に農業協同組合をはじめ酪農家の皆さんは大きな不安を抱いております。

このような厳しい環境のなかにあつても、基幹産業の酪農家の皆さんが意欲と希望をもって酪農経営に専念できるよう幌延町農業協同組合をはじめ関係機関と協議・協力しながら強い体質で生産性の高い酪農の推進を図ります。

土地改良等の基盤整備事業は国営かんがい排水事業を推進するとともに幌延地区及び問寒別地区の畜産担い手育成総合整備事業を継続し、草地や畜舎等の整備を進めます。中山間地域等直接支払交付金事業については平成17年度を初年度とする